ダイバーシティ・インクルージョン

久留米大学 DI NEWS No.3

DI推進室発行　2021年8月31日

概要 Summary

H26	大学病院に男女共同参画事業推進委員会(元気プロジェクト)を設立
H28	厚生労働省平成 28 年度女性医師キャリア支援モデル普及推進事業に採択
R2/4月	病院の委員会を「ダイバーシティ・インクルージョン(D&I)委員会」に名称変更
R2/11月	文部科学省令和 2 年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)に採択 ダイバーシティ・インクルージョン(DI)推進室を設立し、全学でのDI推進事業としてKG-PROJECTを開始

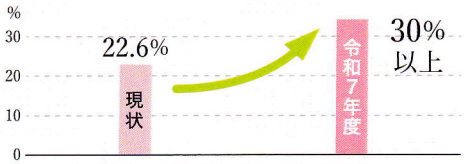
※KG：KはKurume、GはGenkiやGene(遺伝子)を表わします。

「内村助成金」や「DI Day」の開催など、女性研究者の研究力向上のための幅広い活動をしています。

内村 直尚学長

KG-PROJECTの目標 Goal

女性研究者割合



女性研究者比率を令和7年度までに、30%以上に(現状：令和元年度 22.6%)

医系上位職に占める女性研究者比率

女性上位職(講師以上)比率を令和 7 年度までに、15.2%以上に(現状：令和元年度 10.0%)

「若手研究」採択のための科研費書き方セミナー Report

溝口 恵美子先生
(免疫学講座 准教授)

DI 推進室主催の“「若手研究」採択のための科研費書き方セミナー”を、8月3日に開催しました。講師は、第一部・第二部ともに、米国 NIH グラントの審査員経験をもつ溝口恵美子先生(免疫学講座 准教授)でした。テーマは、第一部が「科研費採択のための書き方講座」、第二部が「実践編：実際の書類を見てみよう」でした。第二部に移る前に、河原幸江先生(薬理学講座 准教授)による科研費獲得体験談も披露されました。

溝口恵美子先生からの科研費申請書作成のポイントは、以下の通りです。

- 3原則は“アイディア”“業績”“見栄え”
- 80%以上のエネルギーを、タイトルと概要欄に注いで!
- 適切な図を入れ込む。図の中に年次計画があると、なお良いです。
- 図(白黒が原則)のタイトルにはメッセージを盛り込んで!
- 分野や細目の選択は慎重に!
- 若手研究に応募する場合、ライバルとなる研究者の平均的な業績は学会発表と原著が 1 篇と想定し、自分がそのレベルになっているかどうかを考えましょう
- 自分がなぜ研究をするのか、とことん追求していますか?

“ You never fail until you stop trying ”
失敗を恐れないで!

コロナ禍での開催となったため、十分な physical distance を取れるよう、参加者を30名に限定して実施しました。

令和2年度内村助成金 大学院生枠採択者 Focus

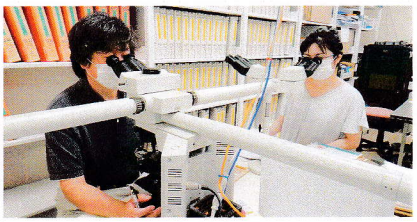
森坪 麻友子先生
(病理学講座)

森坪先生は、佐賀大学医学部医学科を卒業後、久留米大学病院で初期研修を終えられ、久留米大学医学部病理学講座に入られました。大学院在学中に産休・育休をとられ、現在大学院 3年生です。大学院では脳腫瘍や悪性リンパ腫の研究に取り組んでおられます。

プライベートでは、夫と 11 月で 3 歳になる娘さんの 3 人家族です。

好きな言葉：Happiness is a state of mind
好きな食べ物：お寿司と桃
趣味：手芸

森坪先生からのメッセージ
子育てと仕事が両立できているかはわかりませんが、夫や職場の理解があってこそ両立すると思います。



女性研究者によるリレー・コラム ❶ Column

広報活動 WG の有永です。これまで広報活動には縁がありませんでしたが、この企画と一緒に勉強しています。

最近、老化を感じる事件が次々に起こったため、自転車通勤はもちろんのこと、ラジオ体操とカスピ海ヨーグルトを継続中です。

若い方からパワーをもらおうと企んでいます。どうぞ宜しくお願いします。

有永 照子先生
(内科学講座(消化器内科部門)准教授)

発行 ダイバーシティ・インクルージョン(DI)推進室
〒830-0011 福岡県久留米市旭町67［久留米大学内］ https://d-inclusion.kurume-univ.jp/
Tel：0942-65-4719（内線 3179）